

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ  
臨床研究へのご協力をお願い

奈良県立医科大学では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

難治性昼間尿失禁の予測因子の検討

1. 対象となる患者さん

2021年4月1日から2025年12月31日までに昼間尿失禁を主訴に奈良県立医科大学附属病院および協力医療機関を受診した5歳から15歳までの患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 森澤 洋介

3. 研究の目的と意義

昼間尿失禁はウロセラピーや抗コリン薬などで段階的に治療されることが一般的ですが、しばしば難治性で治癒までに数年かかることもあります。小児の下部尿路症状の評価として古くから使用されている質問票である Dysfunctional Voiding and Incontinence Scoring System (DVSS) がありますが、Pediatric incontinence questionnaire (PINQ)は下部尿路症状を有する小児のQOLを評価するための質問票として開発されています。本研究では、難治性昼間尿失禁を予測する因子をPINQ・DVSSを含めて検討します。難治症例を予測することは初期治療からの治療戦略を検討する上で重要です。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集します。

5. 使用する情報

①臨床所見（初診時年齢、性別、既往歴、便秘の有無、尿失禁の回数）

- ②検査所見（ウロフロメトリー、残尿量）
- ③排尿記録（1回排尿量、最大1回排尿量）
- ④質問票（DVSS、PINQ）
- ⑤転帰（昼間尿失禁消失までの期間）

## 6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 森澤 洋介

## 7. 研究の実施体制

この研究の実施体制は以下のとおりです。

### 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 森澤 洋介

### 研究分担者

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 診療助教 橋 進彰

### 協力機関

岡波総合病院 泌尿器科 藤本 健 三重県伊賀市上野桑町 1734

松阪中央病院 泌尿器科 雄谷 剛士 三重県松阪市川井町字小望 102

## 8. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2028年3月31日

## 9. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

## 10. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 森澤 洋介

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：morizawa@naramed-u.ac.jp